

第20回海外勤務者健康管理研修会 実施要項

主催： 海外勤務者健康管理全国協議会

共催： 東京産業保健総合支援センター

日本産業衛生学会関東産業医部会

日時： 2015年8月8日 14時30分～16時40分

場所： 東京医科大学病院 6F 臨床講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

TEL 03-3342-6111 (代表)

受講対象： 産業医 産業看護職 産業保健実務担当者 (人事・労務)

内容：

1. 講演1 (14:30～15:30)

「デング熱～世界の状況と感染予防策」

演者 国立感染症研究所 ウイルス第一部 第2室 高崎 智彦

座長 東京医科大学病院 渡航者医療センター 教授 濱田 篤郎

2. 講演2 (15:40～16:40)

「海外出張業務の内在リスクに関する裁判例の示唆について
～失敗学から得られる予防措置～」

演者 近畿大学 法学部 教授 三柴丈典

座長 (独)労働者健康福祉機構 大阪労災病院

治療就労両立支援センター 部長 久保田 昌詞

カリキュラム：

日本医師会認定産業医制度 生涯研修会(専門研修) 2単位 (申請中)

日本職業災害医学会 海外勤務健康管理指導者認定制度 更新研修 (申請中)

日本渡航医学会 認定医療職制度 指定研修会 1単位

募集人数： 200名

参加費： 2,000円 (当日徴収)

申込先： 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町1179-3

大阪労災病院 治療就労両立支援センター内

海外勤務者健康管理全国協議会事務局宛 (担当 久保田昌詞)

e-mail: yoyaku@sigma-k4.jp

T E L (072) 252-3561 F A X (072) 252-1360

申込方法：原則的にe-mailでお願いします。F A Xも可です。

「第20回海外勤務者健康管理研修会参加希望」と明記の上、

- ① 氏名（ふりがな）
- ② 産業医認定証番号 及び 所属医師会
（医師以外の方は職種をお書きください）
- ③ 所属先名称
- ④ 所属先住所
- ⑤ 所属先TELおよびFAX番号
- ⑥ e-mail address

をご連絡ください。

受講の可否は受付後1週間以内にご連絡します。

申込期間： 2015年7月1日（水）～8月6日（木）午後5時まで

お問い合わせ先 海外勤務者健康管理全国協議会事務局
大阪労災病院 久保田 昌詞
TEL 072-252-3561 (代表)
FAX 072-252-1360
e-mail : yoyaku@sigma-k4.jp

研修会の主旨

講演1 「 Dengue熱～世界の状況と感染予防策」

演者 国立感染症研究所 ウイルス第一部 第2室 高崎 智彦

昨年夏、東京中心に終戦後初めて国内発生が報告され、社会的にも大きな話題となった Dengue熱は熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国で主に発生しているが、アフリカ、オーストラリア、中国、台湾においても発生している。近年の経済のグローバル化に伴い、これら地域への長期滞在者のみならず、短期出張者が罹患することも少なくない。しかも、マラリアとは異なり、媒介する蚊がいるなら都会でも感染する。時には Dengue出血熱や Dengueショック症候群などの重症型に陥る危険性もある。

本講演では、Dengue熱の病態や感染予防法などを中心に、海外勤務者の健康管理の視点からお話を頂く。

講演2 「海外出張業務の内在リスクに関する裁判例の示唆について

～失敗学から得られる予防措置～

演者 近畿大学 法学部 教授 三柴丈典

海外で業務に従事する場合の労災判例は、産業保健上の様々な対策や人事労務上の対応がことごとく失敗に終わった事案といえよう。その事案の裁判記録を詳細に分析し、個々の判例での自死・過労死に至る背景分析から問題点を整理してみると、いわゆる「長時間労働者」のリスクに類似したストレス要因以外にも、時差を超えての長時間移動による疲労蓄積、時差ボケに伴う体調不良、出張先での業務の過密など、海外勤務・出張ならではの課題も浮かび上がってきた。しかし、海外派遣の可否を判断する健診としては「海外派遣労働者の健康診断」（安衛則45条の2）があるのみで、その項目にはメンタルヘルスに関する項目がもとよりなく、上記のリスクを評価するような適切な指標にも乏しい。

本講演では、失敗学として労災判例を分析し、そこから示唆される予防措置について提言する予定である。